

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス			公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	・限られたスペースで児童が安全に過ごせるように適宜環境設定を行ったり、別室の利用もしている。	・活動スペースが5人を超えると狭く感じるのでショート部屋の活用も検討。・MAX利用になったときに狭さを感じる。・椅子や机、荷物置きの頑丈なものが必要。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	・児童の利用時間の変動や送迎スケジュールにより、必要に応じて職員配置の増減も計画的に行っている。	・送迎に混雑がほしい。送迎に出た職員、残った児童を見る職員不足。・職員の数が足りておらず、もっと人員がいれば良い療育ができるのにと感じる。・送迎による混雑や待機職員数は不足していると感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・施設内での過ごし方、備品の使い方等、声掛けや視覚提示により児童にとって分かりやすい状況を整えている。	・バリアフリー対応はしていない。各々の記録についてアナログ部分が多いのでシステム導入も検討してほしい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	毎日の施設内外の清掃、備品等の定期的なメンテナンスを欠かさず行っている。お家を感じてもらい、リラックスできる環境がある。	遊具の吊り下げの部品が壊れたままになっているところの改善が必要。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・宿題や個別に対応が必要な時はショートステイの部屋で行われている。・個室、トイレ、シャワー室等は完備されている	・職員の人員配置が不足している現状のため今は難しい。・メインスペースでもパーテーション等で区切られた空間があると活動の幅が広がる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	・まだまだ深くしつかりしたほうがいいと思うが子どもの小さな成長も喜び合える環境にある。・毎日の申し送りで改善案を話し合っている。	・日々の業務で振り返りは時々できていないかできていないかと思う。業務改善に向けて職員間で検討する機会を持ちその結果をもとに業務が遂行されているが、その後の振り返りが行われているかは不明。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	4	・他の職員にも分かりやすく共有してくれている。	・今年初めての評価表への取り組み。いただいた意見を反映していきたい。・現状把握できていない。・分からない。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	4	・日々の申し送り必要であれば話し合いの時間を設けている。・毎日終礼前に振り返りをする時間を設けることができている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・今年度から実施していく	・わからない。現状を把握できていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	5		・一部の職員は研修を受講できているが、全職員にその機会が確保されている状況でない。・個人での資格のための研修を受講したが職員全体に向けての研修は開催されていない。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	4	要望があれば公表できるようにしている。ホームページ上に療育プログラムとして公表している。	内容詳細については適切かどうか職員間で適宜検討の機会を持ち、利用者等に分かり易く整備される必要はあると思われる。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	児発審により保護者面談を定期的実施している。	サービス計画の作成にあたり、アセスメント結果、ニーズ、課題がどのように分析反映されているか詳しく把握できていない。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	3	日々の振り返りなどで子どもの様子や意向、課題について話し合い、適応範囲で反映されている。	日々の職員からの報告を受けて自発的により作成、勤務職員で検討できていることあるが専断傾向になってしまっている職員もいる。詳細は把握できていないが支援にあたる職員全員で検討の機会を持つことはできていない状況である。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	月別スケジュールで共有。内容は人数、科目などで変更することもある。作成した計画はファイリングされているようにしている。サービス計画は常に全職員が把握できる状態であり、支援内容についても日々のミーティングの中で適宜見直されている。	共有はされていないのでみんな同じ思いで進めていくことが大切である。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	日々の行動観察により児童の適応行動の状況を確認し記録している。また職員で細かい分析やその後の変化についても経過を追い、支援に生かされていると思われる。	インフォーマルなアセスメントに該当するものに心当たりはない
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3		一人一人の児童の支援方法を確認し、よりみんなと同じ思いで進めていくことが必要である。現場を把握できていない
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	ミーティングの時間などを利用して、計画的にプログラムの検討、立案が行われている。現場の職員で意見を出し合って決めている。	チームではできていないので次月のプログラムを決める時にみんな決められるといい。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	プログラム名を変えたり子どもたちが興味ないような工夫をしている。事前に一ヶ月のプログラム予定を作成し履修や予定が変更できる状態のため、両者のプログラムが重複しないように工夫がされている。曜日や長期休暇の活動内容でスタッフと相談したり意見をもち固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	グループゲームやここで行うものなどいろいろ組み合わせている。集団活動は事前に計画をたて日毎に様々なプログラムを設定実施している。個別活動については学習の時間は職員と一対一の取り組みとしており、その他の時間は児童の状況、希望に応じて個別活動が行える時間を取られている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	7	支援内容、役割分担などの情報共有は支援開始前の打ち合わせで行っている。	日によってできない時もある。必ずではない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼時に毎回ミーティングを行っており、記録も残されているため支援内容について全職員が情報共有ができる状態となっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	その日の状況についてスタッフが記録の記入を行い共有している。書き方の統一は不十分だが、記録の徹底は意識づけされている。日々の支援記録、およびミーティングの議事録は必ず作成することが徹底され、必要に応じて支援内容の見直しを為されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	3	サービス計画書やアセスメントシートの内容も定期的に見直し、スタッフ間で協議をもと取り組んでいる。6ヶ月に一度程度している。	モニタリングや計画は管理責任者になっている。現状を把握できていない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	3	児童らが安心してできる環境で意欲的に様々な経験を積むことができるよう配慮しつつ4つの基本活動を組み合わせ支援を行っている。	4つの基本活動を認知していませんでした。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	6	1	園外活動では活動内容を説明し、この自主性を尊重し、達成感を持てるよう工夫している。職員の数にもよるが参加している人も一定数いる。クッキングや買い物体験など自分で決定する機会を設けている。活動内容や実施のタイミング、実施中のルールなど児童と職員間で話し合いの機会を設け、児童の意見や希望も反映されるような工夫がある。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	3		現状を把握できていない。まだ関係者会議に参加した実績がない
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5		各機関とのつながりが未発達。現状を把握できていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	保護者から協力していた学校予定を共有している。ご家庭と連携をとり事前に学校行事や下校時刻等の把握が行なっている。当日の送迎などに際する急な連絡については直達学校と連携が取れている。当日の送迎時に関する急ぎの連絡については直達学校と連携が取れている。	児童のお迎え時に何度が行き違いが発生徐々に改善。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5		現場を把握できていない。以前利用した園との共有はできていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7		現状該当するものがいない。障害福祉サービス事業所への移行のケースはまだない。事例なし。不明
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6		不明。現状把握できていない。そのような関係づくりができていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	地域のイベントや行事への参加の機会があり、活動を共にすることはできている。	つながりがなく、できていない。地元商店街のイベントや地域の催し等に参加しているが、子供との交流はできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7	一度だけ参加した程度。	現状を把握できていない。・不明・分からない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	写真を利用し、こまめに保護者へ送るようになり、親子が伝わるよう工夫している。・日常の子どもの状況については送迎時や面談時、電話連絡などで伝え合っている。・送迎時、面談時子供の状況を伝え、全スタッフも課題について共有している。	発達状況および課題についての共有がどの程度できているかは把握できていない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7		・対象となりそうな家庭はあるがどこまでして良いのか模索中。・現状を把握できていない
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	3		・支援プログラムを説明が十分にされていない。・現状を把握できていない	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2		児童、保護者の意向を確認する機会は定期的に持たれているが詳細は把握出来ていない。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	4		・現状を把握出来ていない	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	・相談がある場合は適宜受けるようにしている。・保護者様からの相談、事業所で気になった点等、保護者様と共有し、対応している。・定期面談や日常的なご家族とのやり取りの中で相談事があれば応じられている。	具体的な助言、支援内容については十分に把握出来ていない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	今後していきたい話はある。	・保護者や利用者の兄弟との交流の場は設けていない。・保護者や兄弟同士の交流の機会は設定されていない。・不明
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	2	子どもや保護者からの支援内容に関する意見等については迅速、適切に対応し、職員間にもその内容が主知されている。	苦情対応の体制についてどのような整備がなされているのかは把握出来ていない。・利用料の支払い方法について苦情を受け、報告したが、改善される事なくその方も退所されてしまった。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	SNSを活用し、日々の活動や、支援の様子をまた野外活動の予定なども発信している。・活動内容をこまめにラインで保護者に送信されている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人記録はスタッフルーム保管庫内に保管され、それ以外の個人情報についての書類もスタッフルーム内で児童の目に留まらない様に留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	児童に対しては、伝達方法（視覚的、聴覚的）や、伝達のタイミングなどを工夫するなどの配慮がある。保護者に対しては、日常的な伝達は電話連絡、SNS等状況に応じて使い分け、伝達されない職員間でも情報共有を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・地域の方に案内を出したり、招くことはしていない。・現状を把握出来ていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	7		本社にはあると思うがひのくる（児童用）にはないものもあり、周知できていない。・日々話していますが、対策マニュアルはないように思います。・避難訓練をしていないため、していく必要がある。・現状を把握出来ていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	7		ひのくる版のBCPはない。定期的な訓練は実施できていない。・現状を把握出来ていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	3		利用開始前に児童の状況について保護者より情報収集は行っているが、予防接種の状況等どこまで詳細に確認されているかは把握できていない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現在食物アレルギーのある児童の利用はない。・事例なし。・契約時に確認している。・エビベンを使用するアレルギーの児童の利用がたまのところない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	7		・安全計画ひのくる版はない。研修や訓練は実施できていない。・送迎時、屋内外での活動中いずれも職員各々が児童の安全を意識した支援を行っているが、計画の立案や研修については把握できていない。・不明
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	5		・安全計画ひのくる版を作成できていないため周知できず。・現状を把握できていない。・わからない。・不明
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		ヒヤリハット事業は職員間で共有できているが、その内容について検討されているかは把握できていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	4		・虐待防止への適切な対応はできていない。研修を設けていない。・現状を把握できていない。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	5		・現状を把握できていない。・分からない。	